

加須市国民健康保険保健事業実施計画（第3期データヘルス計画） 第4期特定健康診査等実施計画の策定（案）について

健康医療部
いきいき健康長寿課
国保年金課

加須市国民健康保険保健事業実施計画（第3期データヘルス計画）

第4期特定健康診査等実施計画の策定方針(案)について

- 1 計画の位置づけ
- 2 計画の目的
- 3 計画全体の目標・指標
- 4 第3期計画から新たに追加される事項
- 5 計画期間
- 6 計画策定方針（案）
- 7 健康課題（医療、介護、健診データなどの分析結果から抽出）
- 8 個別保健事業（健康課題の解決に向けた取組を実施）
 - （1）新旧計画の個別保健事業対照表
 - （2）健康課題の解決に向け取組を行う個別保健事業
 - （3）健康課題の解決に向けた目標・評価指標・目標値
 - （4）健康課題を解決するための個別の保健事業
- 9 計画策定スケジュール（予定）

1 計画の位置づけ

データヘルス計画は、国民健康保険の被保険者の健康保持増進に資することを目的として、保険者等が効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、特定健康診査等の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、P D C Aサイクルに沿って運用する計画です。

○他の法定計画等との調和

「21世紀における第3次国民健康づくり運動（健康日本21(第3次)）」に示される基本方針や埼玉県の「健康長寿計画」、本市の総合振興計画の部門計画である「第3次加須市健康づくり推進計画」の基本目標「病気の発症予防と重症化予防」「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」との調和を図る計画とします。

○第4期特定健康診査等実施計画との一体的策定

令和5年度に第3期特定健康診査等実施計画の計画期間が終了することから、これまで取り組んできた保健事業の効果検証等を踏まえて「第4期特定健康診査等実施計画」を策定いたしますが、この計画は、データヘルス計画と内容が重複することから、引き続き一体的に策定します。

2 計画の目的

健康・医療・介護データから抽出された健康課題の解決に向け、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を展開し、加須市国民健康保険に加入している被保険者の健康増進を図ることにより「健康寿命の延伸」及び「医療費適正化」を目指します。

3 計画全体の目標・指標

(1) 目標 健康寿命の延伸・医療費の適正化

(2) 指標

指標	実績	目標値					
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
65歳からの健康寿命※	男：17.86歳 女：20.67歳	延伸	延伸	延伸	延伸	延伸	延伸
生活習慣病1人当たり医療費	115,228円	維持	維持	維持	維持	維持	維持

※健康寿命

元気で家族などの世話になることなく、日々の生活が送れる年数を、65歳から何年間、過ごすことができるかという期間の平均を示したものです。加須市では、この元気で日々の生活が送れることを介護保険の要介護度に置き換えてみると、最も軽度の要支援1から最も重度の要介護5までの7段階中、要介護2がおおむねトイレや入浴が自分一人では困難で家族などの助けが必要な人となるので、要介護1までに留めることを基本にしています。（埼玉県の算出方法を採用：厚生労働省による都道府県別健康寿命とは算出方法が異なります。）

4 第3期計画から新たに追加される事項

標準化の推進：すべての都道府県において設定する評価指標を標準化

これを受け以下の指標の設定されることとなる

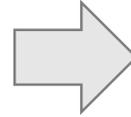
都道府県共通指標・地域の実情に応じて設定した埼玉県版の指標

評価指標	都道府県共通	埼玉県版
特定健康診査受診率	●	
特定保健指導実施率	●	
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	●	●
HbA1c8.0%以上の割合	●	
HbA1c6.5%以上かつ糖尿病レセプトなしの者の割合		●
高血糖（HbA1c6.5%以上）者の割合		●
血圧保健指導判定値以上の者の割合		●

5 計画期間 令和6（2024）年度から令和11（2029）年度までの6年間

6 計画策定方針（案）

第2期データヘルス計画
(1) 基本的事項
(2) 現状の整理
(3) 健康・医療情報等の分析と分析結果に基づく健康課題の抽出
(4) データヘルス計画の目的・目標
(5) 保健事業の内容
(6) 計画の評価・見直し
(7) 計画の公表・周知
(8) 個人情報の取扱い
(9) 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項
(10) 事業運営上の留意点



第3期データヘルス計画
(1) 基本的事項
(2) 現状の整理
(3) 健康・医療情報等の分析と分析結果に基づく健康課題の抽出
(4) データヘルス計画の目的・目標
(5) 健康課題を解決するための個別保健事業の内容
(6) 計画の評価・見直し
(7) 計画の公表・周知
(8) 個人情報の取扱い
(9) 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項
(10) 第4期 特定健康診査等実施計画

7 健康課題（医療、介護、健診データなどの分析結果から抽出）

	健康課題と対策	方向性
1	虚血性心疾患・脳血管疾患・腎不全などの重篤疾患の発症予防 (死因の上位に位置しており、SMRも高い)	健診で受診勧奨判定値を超えた者に対して適切な医療機関の受診促進や保健指導の実施
2	メタボ該当者、及び予備群該当者の重症化予防 (健診受診者における受診勧奨対象者やメタボ該当者は国や埼玉県よりも多く、経年でも横ばいである)	特定保健指導実施率の維持・向上
3	健康状態不明者の減少 (特定健診対象者の内、約2割が健診未受診かつ生活習慣病の治療も受けていない)	適切な対象者を特定保健指導や重症化予防事業につなげるため特定健診受診率のさらなる向上、及び未受診者対策
4	運動習慣、食習慣の改善が必要と思われる人の割合が多い (1回30分以上の運動習慣なし、週3回以上就寝前夕食)	生活習慣病の発症・進行、重篤疾患の発症を防ぐことを目的に、被保険者における運動習慣、食習慣の改善
5	国保世代からの重症化予防(将来の重篤な疾患の予防対策)	国保被保険者からの生活習慣病の重症化予防対策による、後期高齢者における重篤疾患の発症予防
6	重複・多剤服薬者に対する服薬の適正化	健康増進の観点からの服薬の適正化後発医薬品の使用割合の向上
7	がんの死亡率の減少 (悪性新生物は、死因の上位)	がん検診の受診率を向上

8 個別保健事業（健康課題の解決に向けた取組を実施）

（1）新旧計画の個別保健事業対照表

加須市国民健康保険保健事業実施計画 （第2期データヘルス計画） 第3期特定健康診査等実施計画
国保健診(特定健康診査)受診率向上対策
特定保健指導終了率向上対策
生活習慣病重症化予防対策 (糖尿病性腎症重症化予防対策)
後発医薬品利用促進対策



加須市国民健康保険保健事業実施計画 （第3期データヘルス計画） 第4期特定健康診査等実施計画
1 特定健康診査事業
2 特定保健指導事業
3 糖尿病性腎症重症化予防対策事業
4 適正服薬の促進
5 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進
(新) 6 地域包括ケア及び高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する取組み
(新) 7 がん検診事業

健康課題の解決に向け、新たに2事業を追加し取組を実施

(2) 健康課題の解決に向け取組を行う個別保健事業

	健康課題と対策	目的	取組を行う個別保健事業
1	虚血性心疾患・脳血管疾患・腎不全などの重篤疾患の発症予防 (死因の上位に位置しておりSMRも高い)	○糖尿病の適正受診、重症化予防を促します	・糖尿病性腎症重症化予防対策事業 ・保健事業と介護予防の一体的実施事業
2	メタボ該当者、及び予備群該当者の重症化予防 (健診受診者における受診勧奨対象者やメタボ該当者は国や埼玉県よりも多く、経年でも横ばいである)	○特定保健指導の実施率を向上させ、生活習慣の改善を促します ○生活習慣病の発症・進行、重篤疾患の発症を防ぐことを目的に、被保険者における運動・食習慣の改善を促します	・特定保健指導事業
3	健康状態不明者の減少 (特定健診対象者の内、約2割が健診未受診かつ生活習慣病の治療も受けていない)	○特定健康診査受診率を向上させ、異常の早期発見を促します	・特定健康診査事業 ・保健事業と介護予防の一体的実施事業
4	運動習慣、食習慣の改善が必要と思われる人の割合が多い(1回30分以上の運動習慣なし、週3回以上就寝前夕食)	○生活習慣病の発症・進行、重篤疾患の発症を防ぐことを目的に、被保険者における運動・食習慣の改善を促します	・特定保健指導事業
5	国保世代からの重症化予防 (将来の重篤な疾患の予防対策)	○糖尿病の適正受診、重症化予防を促します ○前期高齢者に対して、生活習慣病重症化予防、フレイル・介護予防を実施することで後期高齢者における重篤疾患発症の予防をします	・糖尿病性腎症重症化予防対策事業 ・重症化予防保健指導事業 ・保健事業と介護予防の一体的実施事業
6	重複・多剤服薬者に対する服薬の適正化	○重複・多剤服薬者に対しての服薬の適正化、後発医薬品の使用割合向上を促します	・適正服薬の促進 ・後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進
7	がんの死亡率の減少 (悪性新生物は、死因の上位)	○がんの早期発見・早期治療につなげ、がんの死亡率を減少します	・がん検診事業

(3) 健康課題の解決に向けた目標・評価指標・目標値

★すべての都道府県で設定する指標
 ☆地域の実情に応じて埼玉県が設定した指標
 ○加須市が独自に設定する指標

健康課題	目標	評価指標	実績	目標値						関連する個別保健事業
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
3	特定健診受診率を60%とする。	★特定健診受診率	41.4%	50%	60%	60%	60%	60%	60%	特定健康診査事業
2	特定保健指導実施(終了)率を60%とする。	★特定保健指導実施(終了)率	25.6%	30%	35%	40%	50%	55%	60%	特定保健指導事業
2	特定保健指導によりメタボリックシンドロームを解消する。	☆★特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	31.1%	増加	増加	増加	増加	増加	増加	
1・5	血糖コントロール不良者の割合が減少する。	★HbA1c8.0%以上の割合	1.3%	減少	減少	減少	減少	減少	1.0%	糖尿病性腎症重症化予防対策事業
	糖尿病の未治療者や治療中断者を減らす。	☆HbA1c6.5%以上かつ糖尿病レセプトなしの者の割合	18.4%	減少	減少	減少	減少	減少	減少	
	高血糖者の割合を減らす。	☆高血糖者の割合(HbA1c6.5%以上)	13.6%	減少	減少	減少	減少	減少	減少	
	人工透析者数を減らす。	○人工透析新規導入者数	21人	20人	19人	18人	17人	16人	15人	

(3) 健康課題の解決に向けた目標・評価指標・目標値

★すべての都道府県で設定する指標
 ☆地域の実情に応じて埼玉県が設定した指標
 ○加須市が独自に設定する指標

健康課題	目標	評価指標	実績	目標値						関連する個別保健事業
			令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
2・4	保健指導判定値以上の割合を減らす。	☆ 血圧保健指導判定値以上の者の割合	55.7%	減少	減少	減少	減少	減少	減少	特定保健指導事業
	特定保健指導によりメタボリックシンドロームを解消する。	☆★ 特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	31.1%	増加	増加	増加	増加	増加	増加	
5	後期高齢者における重篤疾患発症者を減らす	○ 保健指導実施者の割合	81.5%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	重症化予防保健指導事業
6	重複・多剤服薬者を減らす。	○ 重複服薬者の人数	199人	減少	減少	減少	減少	減少	減少	適正服薬の促進
		○ 多剤服薬者の人数	36人	減少	減少	減少	減少	減少	減少	
	後発医薬品の使用割合を増やす。	○ 後発医薬品の数量シェア	79.7%	80.5%	81.0%	81.5%	82.0%	82.5%	82.5%	後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進
7	がん検診の受診率を向上させる。	○ 胃がん検診受診率	5.9%	増加	増加	増加	増加	増加	増加	がん検診事業
		○ 肺がん検診受診率	9.7%	増加	増加	増加	増加	増加	増加	
		○ 大腸がん検診受診率	12.3%	増加	増加	増加	増加	増加	増加	
		○ 子宮頸がん検診受診率	13.9%	増加	増加	増加	増加	増加	増加	
		○ 乳がん検診受診率	13.1%	増加	増加	増加	増加	増加	増加	

(4) 健康課題を解決するための個別の保健事業

★すべての都道府県で設定する指標
 ☆地域の実情に応じて埼玉県が設定した指標
 ○加須市が独自に設定する指標

① 特定健康診査事業

背景	平成20年度より、脳血管疾患、心臓病、腎不全等の生活習慣病の原因となるメタボリックシンドロームを対象にした特定健康診査・特定保健指導が保険者に義務付けられています。 加須市では、制度開始以降、特定健康診査等実施計画を基に進められており、様々な取り組みを行ってきました。								
前期計画からの考察	受診率は41.4%(令和4年度)と国の目標値(60%)を下回っており、更なる受診率の向上を図る必要があります。特に40代50代の若い世代の受診率から他の年代に比べ低く課題となっています。インセンティブの付与やSNSなどの媒体を利用した受診勧奨などの取り組みを実施していく必要があります								
目的	メタボリックシンドロームおよびそれに伴う各種生活習慣病の予防を目指した特定健康診査・特定保健指導を進めるため、周知や受診勧奨などの取り組みを行うことで、特定健康診査の受診率の向上を目的とします。								
具体的内容	<p>【対象】、【実施機関】、【健診項目】、【費用】、【実施スケジュール】、【周知】については「第5章 特定健康診査・特定保健指導の実施」に記述してあります。</p> <p>【受診勧奨】7月に未受診者に対して年齢・前年度以前の健診受診状況等から未受診者を分類し、特性に応じたハガキ等による受診勧奨を行います。</p> <p>【受診再勧奨】10月に未受診者に対してハガキによる再勧奨を行います。</p> <p>【かかりつけ医からの勧奨】かかりつけ医よりチラシ・ポスターを用いて通院中の方への受診勧奨を行います。</p> <p>【国保新規加入者へ受診勧奨】国保加入時にチラシを用いて受診勧奨を行います。</p> <p>【インセンティブの付与】かぞ健康マイレージのポイント付与対象事業とします。</p> <p>【みなし健診】40代・50代は職場で健診を受けていることが多いため、事業主健診や人間ドックの健診データ提供を被保険者、商工会、JAなどに呼びかけていきます。</p> <p>【40代50代の若い世代への対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40代50代の若い世代の受診率は他の年代に比べて低く、生活習慣病の予防の観点から若いうちに健診を受けて、必要に応じて生活習慣の改善を促していくことが重要です。 ・特に40代は生活習慣病で定期的に受診をしている割合は低いため、近隣の医療機関の情報や健診受診の方法が分からない可能性もあります。インセンティブの付与やみなし健診の他にSNSを使って、受けた日や曜日や時間や地域を選べるよう、健診受診までの行程の簡素化を図ります。 								
評価指標目標値	指標		現状値(R4)	目標値					
				R6	R7	R8	R9	R10	R11
	アウトカム	○みなし健診受診率	13%	増加	増加	増加	増加	増加	増加
	アウトプット	★特定健康診査受診率	41.4%	50%	60%	60%	60%	60%	60%
	プロセス	課内打ち合わせ回数							
ストラクチャー	予算獲得率								

(4) 健康課題を解決するための個別の保健事業

②特定保健指導事業

- ★すべての都道府県で設定する指標
- ☆地域の実情に応じて埼玉県が設定した指標
- 加須市が独自に設定する指標

背景	<p>平成20年度より、脳血管疾患、心臓病、腎不全等の生活習慣病の原因となるメタボリックシンドロームを対象にした特定健康診査・特定保健指導が保険者に義務付けられています。</p> <p>加須市では、制度開始以降、特定健康診査等実施計画を基に進められており、様々な取り組みを行ってきました。</p>								
前期計画からの考察	<p>実施(終了)率は25.6%(令和4年度)と国の目標値(60%)を下回っており、更なる実施(終了)率の向上を図る必要があります。集団健診での分割実施等の対策を行ったことで実施(終了)率があがってきており、今後も対象者の関心を惹き、モチベーションを高められるような事業展開を検討し、実施していく必要があります。</p>								
目的	<p>特定健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した早期介入・行動変容を促すことを目的とする。</p>								
具体的内容	<p>【対象】、【実施機関】、【健診項目】、【費用】、【実施スケジュール】、【周知】については「第5章 特定健康診査・特定保健指導の実施」に記述してあります。</p> <p>【個別健診での利用勧奨】 特定保健指導の対象となった者には受診した医療機関より特定保健指導利用案内チラシを渡します。</p> <p>【集団健診での分割実施】 集団健診時に腹囲、服薬状況から特定保健指導対象者とみなし、当日、簡易的な保健指導を実施します。 健診結果が出る約1か月後に、特定保健指導対象者となった者には電話等で、集団健診時の特定保健指導を補完する保健指導を実施します。</p> <p>【未参加者に対する利用勧奨】 未参加者に対し、個別通知発送後2～3か月後に通知・電話・訪問にて利用勧奨を行います。</p>								
評価指標 目標値	指標		現状値 (R4)	目標値					
				R6	R7	R8	R9	R10	R11
	アウトカム	☆★特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	31.1%	増加	増加	増加	増加	増加	増加
	アウトプット	★特定保健指導実施(終了)率	25.6%	30%	35%	40%	50%	55%	60%
	プロセス	課内打ち合わせ回数							
ストラクチャー	予算獲得率								

(4) 健康課題を解決するための個別の保健事業

③糖尿病性腎症重症化予防対策事業

- ★すべての都道府県で設定する指標
- ☆地域の実情に応じて埼玉県が設定した指標
- 加須市が独自に設定する指標

背景	人工透析導入者の増加への対策として、埼玉埼玉県国民健康保険団体連合会と協定締結をし、平成28年度より開始しました。令和2年度より事業名を生活習慣病重症化予防対策事業から、糖尿病性腎症重症化予防対策事業に変更しました。								
前期計画からの考察	保健指導実施者数、受診勧奨対象者の受診率は増加傾向です。今後も関係機関と連携して実施します。								
目的	糖尿病性腎症の重症化を予防し、人工透析への移行を防止することで、医療費の抑制を図ります。								
具体的内容	加須市が保有する特定健診及び人間ドック等の結果や診療情報のデータを活用して、糖尿病が重症化するリスクのある方を対象に、以下の取り組みを実施します。 【受診勧奨】 特定健康診査等の結果から、糖尿病の疑いがある方や糖尿病の治療を中断していると思われる方を対象に、医療機関への受診を勧めます。 【保健指導】 糖尿病治療のために通院している方でかかりつけ医から推薦があった方に対して、管理栄養士等の専門職が生活習慣改善のための支援を実施します。 【継続支援】 保健指導が修了した方に対する継続的な病状の確認及び自己管理維持のための支援を実施します。								
評価指標 目標値	指標		現状値 (R4)	目標値					
				R6	R7	R8	R9	R10	R11
	アウトカム	○保健指導参加者の最終支援時のHbA1cの平均値	7.1%	減少	減少	減少	減少	減少	減少
		○受診勧奨者の医療機関受診率	30.4%	増加	増加	増加	増加	増加	増加
	アウトプット	○保健指導参加者数	17人	20人	23人	25人	26人	27人	28人
		○受診勧奨通知発送率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	プロセス	事業説明を行った市内医療機関数							
ストラクチャー	予算獲得率								

(4) 健康課題を解決するための個別の保健事業

★すべての都道府県で設定する指標
 ☆地域の実情に応じて埼玉県が設定した指標
 ○加須市が独自に設定する指標

④適正服薬の促進

背景	医療費の適正化を図るため、重複・多剤服薬者の適正服薬の促進対策に取り組みます。								
前期計画からの考察	医療費の適正化を図るだけでなく、薬剤の副作用を予防する観点からも、引き続き重複・多剤服薬者へ適正服薬の促進対策に取り組みます。								
目的	重複・多剤服薬者に対する適正服薬の促進を行っていくことで医療費の抑制を図ります。								
具体的内容	<p>【対象者への通知】 重複服薬者（同一月内に同一薬効を持つ医薬品が複数の医療機関から処方されている状態が直近の3か月のうち2回以上の者）及び多剤服薬者（医薬品の処方数が10種類以上処方されている状態が直近3か月のうち2回以上の者）のうち、対象となった者へ適正服薬を促す通知を送付します。</p> <p>【周知】 ホームページ等で適正服薬について周知し、市全体の意識向上を図ります。</p>								
評価指標 目標値	指標		現状値 (R4)	目標値					
				R6	R7	R8	R9	R10	R11
	アウトカム	○重複服薬者の人数	199人	減少	減少	減少	減少	減少	減少
		○多剤服薬者の人数	36人	減少	減少	減少	減少	減少	減少
	アウトプット	○対象者への通知発送率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との打ち合わせ 中間報告までに、対象者への具体的方策等を検討する。 							
ストラクチャー	予算確保								

(4) 健康課題を解決するための個別の保健事業

⑤後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進

★すべての都道府県で設定する指標

☆地域の実情に応じて埼玉県が設定した指標

○加須市が独自に設定する指標

背景	医療費の適正化を図るため、後発医薬品の利用促進に取り組みます。								
前期計画からの考察	数量シェア率は上昇傾向にあるが、埼玉県内平均よりも低い値です。引き続き、後発医薬品の利用促進を啓発し、医療費の適正化を図ります。								
目的	後発医薬品への切り替えを推進することで医療費の抑制を図ります。								
具体的内容	<p>【差額通知の発送】 後発医薬品に切り替えることで一人当たり300円以上の削減効果が見込める者に対し、年2回（9・3月）差額通知を発送します。対象者の抽出、通知作成及び印刷は国保連合会に作業を委託します。</p> <p>【後発医薬品希望シールの配布】 被保険者に対して、後発医薬品希望シールを窓口等で配布し、後発医薬品への理解を促します。</p>								
評価指標 目標値	指標		現状値 (R4)	目標値					
				R6	R7	R8	R9	R10	R11
	アウトカム	○差額通知による切替率	20.9%	維持	維持	維持	維持	維持	維持
		○数量シェア率	79.7%	80.5%	81%	81.5%	82%	82.5%	82.5%
	アウトプット	○対象者への差額通知発送率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	プロセス	関係機関との打ち合わせ							
ストラクチャー	予算確保								

(4) 健康課題を解決するための個別の保健事業

★すべての都道府県で設定する指標 ☆地域の実情に応じて埼玉県が設定した指標

⑥地域包括ケア及び高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する取組み

○加須市が独自に設定する指標

背景	高齢化が進み、人生100年時代と言われる中、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）を構築し推進しています。 また、健康寿命の延伸をめざし、高齢者の生活習慣病予防や重症化予防のための保健事業とフレイル状態に陥らないための介護予防を一体的に実施しています。								
前期計画からの考察	国保部局、介護部局と連携し、地域包括ケアと高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を推進します。								
目的	関係部局・関係機関と連携し、高齢者のフレイル予防、生活習慣病予防や重症化予防を行うことにより、高齢者の健康保持・増進を図ることと地域包括システムの推進を目的とします。								
具体的内容	国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険データ等の総合的な分析をし、地域包括ケアシステムの推進や高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を進めます。 【フレイル予防の普及啓発】後期高齢者だけでなく前期高齢者（65歳から74歳）を対象に、通いの場等を活用したフレイル予防講座を実施します。 【糖尿病性腎症重症化予防】前期高齢者に対し、糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施します。 【身体的フレイル予防】介護予防教室を実施します。 ・対象者：65歳以上の市民（要介護等認定を受けている者は除く） ・実施方法：認知機能及び運動機能の維持・向上に関する普及啓発、認知機能及び運動機能の維持・向上につながる運動又はレクリエーション等 【生活習慣病重症化予防（重症化予防保健指導事業）】生活習慣病重症化予防（重症化予防保健指導事業）を実施します。 ・対象者：40～74歳の市民 ・実施方法：特定健診の結果が受診勧奨値以上の者等に対して、電話・訪問で受診勧奨を含む保健指導を実施します。 【健康状態不明者対策（要支援高齢者把握事業）】健康状態不明者対策（要支援高齢者把握事業）を実施します。 ・対象者：65歳以上の市民 ・実施方法：後期高齢者の質問票等を活用して健康状態を把握し、生活機能の低下がみられる高齢者に対し、介護予防・日常生活支援総合事業等への参加を促します。								
評価指標 目標値	指標		現状値 (R4)	目標値					
				R6	R7	R8	R9	R10	R11
	アウトカム	★HbA1c8.0%以上の者の割合	1.3%	減少	減少	減少	減少	減少	1.0%
	アウトプット	○介護予防教室の開催	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
		○保健指導実施者の割合	81.5%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	○健康状態不明者対策	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
プロセス	・国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険データ等の総合的な分析を実施 ・関係部局と地域の健康課題を共有・対応策を検討								
ストラクチャー	・専門職の確保・他部門との連携								

(4) 健康課題を解決するための個別の保健事業

⑦がん検診事業

★すべての都道府県で設定する指標
 ☆地域の実情に応じて埼玉県が設定した指標
 ○加須市が独自に設定する指標

背景	がんの予防及び早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的に、国は「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日付け健初第0331058号厚生労働省健康局長通知別添）を定め、市町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進しています。								
前期計画からの考察	死因の上位にあるため、がん検診の受診率向上に努める必要性があります。								
目的	市民の病気を予防するため、各種がん検診を実施し、がんの早期発見、早期治療を促します。								
具体的内容	<p>【実施体制】 集団検診（市内公共施設）と個別検診（医療機関）で実施します。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診：胃部エックス線検査（集団検診）、胃内視鏡検査（個別検診） 肺がん検診：胸部エックス線検査、喀痰検査（ハイリスク者） 大腸がん検診：便潜血検査 子宮頸がん検診：子宮頸部細胞診、HPV検査 乳がん検診：乳房エックス線検査 <p>【受診率向上対策】 集団検診のWEB予約を可能とし、SNS等での受診勧奨、未受診者への再勧奨通知等を行います。</p>								
評価指標 目標値	指標		現状値 (R4)	目標値					
				R6	R7	R8	R9	R10	R11
	アウトカム	○5がん検診の遵守率の平均値	90	84	85	86	87	88	89
	アウトプット	○肺がん検診受診率	9.7%	増加	増加	増加	増加	増加	増加
	プロセス	がん検診を実施する医療機関数							
ストラクチャー	予算獲得率								

9 計画策定スケジュール（予定）

令和6年1月第3回協議会 計画原案等の提案
3月末 計画策定

令和6年4月 加須市国民健康保険保健事業実施計画
(第3期データヘルス計画)

第4期加須市特定健康診査等実施計画の開始

